

科目名	実用英会話[入門]
開講期・単位	春学期・演習
担当者	デントン ルーカス

■講義の目的および概要

初めて英会話にふれる方でも楽しく学べる授業です。海外の旅先や道で会った外国の方との会話や、すぐに使える便利な英語表現を使っているテキストを使用し、教員と一緒に声を出して勉強しましょう。新しい表現を学びながら、間違いを恐れずどんどん積極的に英語で聞く、読む、話すスキルを伸ばしていくことが目的です。

■講義方法/課題に対するフィードバックの方法

【講義方法】

・テキストを使って話す、聞く練習をする・授業の中で、テキストに含まれていない表現が紹介される・ゲームやロールプレイを通して旅行の場面で英語のやりとりを練習する

【課題に対するフィードバックの方法】学生の授業中の会話に対してアドバイスや役立つ語彙を紹介する

■授業計画

- ① 授業で使う言葉 Classroom Language p1
- ② 自己紹介と家族 Self-introduction and Family p10
- ③ 自己表現 Self-expression p16
- ④ 趣味 Interests p23
- ⑤ 感情と病気 Emotions and Illness p30
- ⑥ 場所の説明 Describing Location p38
- ⑦ 許可を得る Asking Permission p46
- ⑧ 気持ちを尋ねる Asking about Feelings p54
- ⑨ 時間 Time p60
- ⑩ 測定 Measurement p68
- ⑪ 説明 Descriptions p76
- ⑫ 比較 Comparisons p84
- ⑬ 経験 Experiences p92
- ⑭ 将来 Future p100
- ⑮ 全単元の復習 All Units Review

■到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連

【到達目標】

授業以外で積極的に学ぶ必要性に気づき、生涯学習としてEFL(外国語としての英語)を勉強し続けるようになる。授業で紹介された英語表現をカンバセーションでつかうこと。日本語から通訳・翻訳ではなく、英語でやり取りを行うこと。

【卒業認定・学位授与の方針との関連

- (DP1)【専門知識・技能を活用する力】
 (DP2)【コミュニケーション能力】
 (DP5)【能動的に学び続ける力】

■成績評価基準と方法

社会人の方に点数を付けられないですが、積極的に勉強に取り組んでほしいと考えています。

■テキスト・参考文献

【テキスト】

"On Your Marks!", Student Book (7th Edition), by Lesley Koustaff, Brent Gaston, and Paul Shimizu, Intercom Press

(テキスト料:2,750円[税込み])

【参考文献】

Essential Grammar in Use (A self-study reference and practice book for elementary students of English, with answers), by Raymond Murphy, Cambridge University Press

■授業外学習

【具体的な内容】

流暢な英語を話したい方は毎日復習や独り言を行ってください。

【必要な時間】

予習・復習の時間は2時間を目安とします。

■その他

教員が紹介する学び技法以外、自分に合った勉強方法を見つけましょう。
毎日英語に触れることを目標にしましょう。

科目名	実用英会話[初級・春]
開講期・単位	春学期・演習
担当者	藤垣 エミリア

■講義の目的および概要

このコースは: Communicative language classと名付けることができます。実際に日常英会話によく使う表現や語彙を学び、一般的な言葉(colloquial language)を使うことが目的です。テキストのBuilding FluencyのセクションやCDのリスニングなどはコンパクトで、使いやすい。このクラスでは、クラスメイトと英語でお話すると同時に、自分のヴォキャブラリーを増やすことができます。

■講義方法/課題に対するフィードバックの方法

【講義方法】

- ・一部はペアーワーク・グループ形式で行う。
- ・スピーキング中心に行う授業であるが、ライティングとリスニングアクティビティーもあります。
- ・テキストがメインですが多読の紹介もあります。

【課題に対するフィードバックの方法】

テキストで紹介される表現や文法的なストラクチャーをより深く理解・身に着けるため、課題を出し、添削をした後に戻します。

■授業計画

- ①Orientation・多読の紹介・テキストについて・Various greetings・class CD
- ②Unit 1 Guess where I'm from (first part: building fluency and listening)
- ③Unit 1(second part: writing and interviewing classmates), grammatical section
- ④Unit 2 Comfy seats (first part)
- ⑤Unit 2 (second part), grammatical section
- ⑥Unit 3 A trip to the art gallery (first part)
- ⑦Unit 3 (second part), grammatical section
- ⑧Unit 4 My quirky family (first part)
- ⑨Unit 4 (second part), grammatical section
- ⑩Unit 5 Scaredy cat
- ⑪Unit 6 The commute
- ⑫Unit 7 A close shave
- ⑬Unit 8 Excuses, excuses
- ⑭Unit 9 Moving on
- ⑮ Unit 10 Shop till you drop

There might be changes depending on how fast the class progress from one unit to the next.

■到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連

【到達目標】

基本的な英会話を身につけ、様々な場面に対応できるようにする。

【卒業認定・学位授与の方針との関連】

(DP1)【専門知識・技能を活用する力】

(DP2)【コミュニケーション能力】

(DP5)【能動的に学び続ける力】

■成績評価基準と方法

評価なし

■テキスト・参考文献

【テキスト】Impact Conversation 1, by Sullivan, K. & Beuckens, T.

出版社: Pearson Longman

(テキスト料: 3,729円[税込み])

【参考文献】Essential Grammar in Use (elementary level), by Raymond Murphy, 出版社:

Cambridge University Press

■授業外学習

【具体的な内容】

毎回繰り返し復習を行うことが不可欠です。言語学習には繰り返し練習する大切さに気付いて、自らたくさん復習すること。英会話を楽しみながら新しい表現を身に着け、実践的に取り組むこと。テキストの内容は実際の英会話にすぐ使える表現を紹介しているので、覚えて使うこと。

【必要な時間】

個人差がありますが、予習・復習の時間はそれぞれ2時間を目安とします。

■その他

自分の英語のレベルアップを目指すなら、活動的な参加がとても必要なので、欠席や授業に遅れないように気をつけること。

科目名	実用英会話[中級]
開講期・単位	春学期・演習
担当者	コクスフォード リチャード

■講義の目的および概要

実用英会話「中級・春」は、学習者が日常的な話題について話す際の自信、流暢さ、柔軟性を養うよう設計されている。会話を柔軟に維持し、発展させるためのヒントが満載。英語で英語を学びましょう。

■講義方法/課題に対するフィードバックの方法

【講義方法】

一般的なパターンは、教師がロールプレイを行ったり例を示しながら行うペアディスカッションと、ハンドアウトで取り上げられたポイントに関する短い講義である。授業では、学生の発言時間を最大限に確保するよう心がける。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業開始時、ペアワーク時、練習後にフィードバックを行う。

■授業計画

- ①Orientation: Long Time No See
- ②My Place
- ③Money
- ④Going Out
- ⑤Real life speaking practice
- ⑥Fashion
- ⑦Learning
- ⑧Experience Abroad
- ⑨Health
- ⑩Real life speaking practice
- ⑪Personalities
- ⑫Careers
- ⑬Personal Entertainment
- ⑭Something Special
- ⑮Real life speaking practice & Review

■到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連

【到達目標】

自由に話す自信と、様々な相手とコミュニケーションをとるための語彙の柔軟性を身につけることができる。

学習者が自信を持って自律的に話し、会話を続け、相手と対話することができるようにする。

【卒業認定】

- (DP1)【専門知識・技能を活用する力】
- (DP2)【コミュニケーション能力】
- (DP4)【多様性の理解と協働する力】

■成績評価基準と方法

講師は、流暢さ、ボディーランゲージ、単語、発音、そして最も重要なインタラクションについて、学習者が改善すべき点をアドバイスする。

テストはありませんが、留学生の実際の英語話者と話す練習をします。

■テキスト・参考文献

【テキスト】

講師がプリントを配布します。

【参考文献】

『Nice Talking With You 1 & 2』

著者：Tom Kenny & Linda Woo

出版社：Cambridge University Press

『Touchstone Level 2, Level 3』

著者：Michael McCarthy, Jeanne McCarten & Helen Sandford

出版社：Cambridge University Press

■授業外学習

【具体的な内容】

授業の前に、ノートを予習し、講師に質問したいことを書き、会話のメモを書き、授業で質問する。

【必要な時間】

授業後、ノートを見直す。また、授業外でもクラスメートと英語で話す機会を見つけることが奨励される。

■その他

文法はスピーキングの一要素に過ぎません。実際の会話で文法的に間違っても、その言葉があなたの目的を達成するのに役立つのであれば、問題ないのです。間違いを恐れずにどんどん話しましょう。